

- こうべまちづくり学校基礎講座募集中 (P.1)
- 平成21年度 こうべまちづくり学校<専修講座>閉幕 (P.2)
- <震災15年特集>阪神・淡路大震災を語り継いで その1 (P.3)
- 発信!まちセン研究ネット⑧ ほか (P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

平成22年度こうべまちづくり学校基礎講座募集

協働と参画のまちづくりを目指してまちづくりの基礎を学ぶ講座です。

	日程	テーマ	内容	講師
1	5月24日 (月)	神戸のまちの歴史	神戸の歴史を通して、神戸のまちの成り立ちを学びます。	田辺 真人 氏 園田学園女子大学名誉教授
2	5月31日 (月)	まちづくり概論	行政から市民の取り組みへと変わってきた「まちづくりの歩み」を振り返り、そこで活用されている「まちづくりルール」について学びます。	三輪 康一 氏 神戸大学大学院 工学研究科准教授
3	6月7日 (月)	「安全安心まちづくり」 ～人と人のつながりを考える～	私たちを取り巻く自然災害・犯罪などに対しどのように対処していくか、人と人、人と地域とのつながりから「安全で安心なまちづくり」を考えます。	渥美 公秀 氏 大阪大学大学院 人間科学研究科准教授
4	6月14日 (月)	これからの 神戸の地域活動	震災から16年目を迎えた神戸の地域活動の現状と課題はなにか、さまざまなデータや資料を通して学びます。	立木 茂雄 氏 同志社大学社会学部教授
5	6月21日 (月)	ワークショップ入門	まちづくりの現場でよく耳にする「ワークショップ」とは？ 受講生同士で「ワークショップ」を実際に体験します。	松原 永季 氏 スタチオ・カタリスト

※内容等は変更することがあります。

- ◆会場・時間：こうべまちづくり会館 午後6時30分～8時30分
- ◆定員：80名 (応募者多数の時は抽選となります。)
- ◆受講料：¥1,000 (4月上旬に案内と納付書をお送りします。期日までに受講料の振込がなく、1回目の授業を欠席された場合は、キャンセル扱いとさせていただきます。)

◆申込方法

受講希望の方は、①講座名「こうべまちづくり学校基礎講座」、②氏名(フリガナ)、③住所(郵便番号)、④年齢、⑤性別、⑥電話番号、⑦職業、⑧これまでの受講の有無、⑨まちづくり協議会・自治会などの地域団体の役職(該当の方)をご記入の上、FAX、はがき、E-mailで下記まで

こうべまちづくり会館 〒650-0022 神戸市中央区元町通4-2-14

FAX：078-361-4546

E-mail：mati2@kobe-toshi-seibi.or.jp

◆申込締切日 3月18日(木) 必着

※ご記入いただいた個人情報、こうべまちづくり学校に関する事務、まちづくりに関する情報の案内(希望者のみ)以外に利用いたしません。

- 秋からは、各分野に分かれてまちづくりについてより深く学ぶ「専修講座」を開催します
(参考)平成21年度の内容

コース	講座名	回数・定員
A	地域活動のファシリテーション～よい話し合いのために身につけておきたいこと～	5回・30名
B	「安全で安心なまちをつくる」防災コミュニティづくりコース	4回・80名
C	「安全で安心なまちをつくる」防犯コミュニティづくりコース	4回・80名
D	まちなみゼミ	5回・40名
E	まちづくりゼミ	4回・40名
F	まち歩き実践ゼミ	4回・40名
G	まちに刻まれた土木を訪ねる	3回・40名

※募集は7月、講義は9月開始の予定です。詳しくは、あーばんとーく別刷(夏頃)、あじさい市民大学夏号等でお知らせします。

※講座の内容、回数、定員については変更することがあります。

平成21年度 こうべまちづくり学校〈専修講座〉開幕

平成21年9月3日から12月22日まで、「こうべまちづくり学校」専修講座を開講しました。今年は、全7コースに延べ、219人のご参加をいただき、138人の方が修了されました。

Aコース 地域活動のファシリテーション～よい話し合いのために身につけておきたいこと～ 全5回

グループでの話し合いを体験したのち、実習により「話を聞く」「場を見る」「議論を書く」といったコミュニケーションの基礎技術を学びました。最終回は、それまでに学んだことを活かして「良い話し合いのために大切にすること」をテーマに話し合い、発表しました。



Bコース 「安全で安心なまちをつくる」防災コミュニティづくりコース 全4回

頻発する大規模地震や水害から得られた「教訓」にもとづく防災・減災対策総論に始まり、災害時における自助・共助の重要性を説いた「防災ボランティア論」、「斜面の安全性」を題材にハード対策の限界とそれを補うソフト対策について語られた講義へと続き、最終回は、これらの講義で学んだことを地域に広めるための方法についてワークショップ形式で議論しました。



Cコース 「安全で安心なまちをつくる」防犯コミュニティづくりコース 全4回

犯罪心理学の見地からみた地域の防犯対策に関する講義に始まり、身の回りに多発する様々な犯罪の実態とそれらから身を守る手段について、さらに子供や高齢者の安全を地域で見守るための「ひとづくり」「まちづくり」について各地の実例紹介を交えた講義が続き、最終回はBコースと同様に、学んだことを地域に広めるための方法をワークショップ形式で議論しました。



Dコース まちなみゼミ 全5回

往時のまちの面影を大切に現代のまちづくり活動を実践する酒蔵のまち「魚崎郷」と、神戸の建築遺産と眺望を考える「新港地区から栄町へ」の2回のまち歩きと、それぞれの振り返りワークショップを通じて、神戸らしい景観とは？そのために市民や市がしてきたことは？これからすべきことは？を考えました。



Eコース まちづくり実践ゼミ 全4回 / Fコース まち歩き実践ゼミ 全4回

今回のE・Fコースは、「まちづくりの自立・持続」を統一テーマとした連動企画となりました。それぞれ「まちをうごかす～自立・持続の身近な工夫～」「まちをみなおす～団地の再生～」について講義・討論とまち歩きを行い、最終回は両コース合同で、「まちをかんがえる～エリアマネジメントをめざして～」と題してワークショップを行いました。



Gコース まちに刻(きざ)まれた土木を訪ねる 全3回

神戸のまちの発展や、くらしを支える土木施設の役割を3回シリーズで学びました。「阪神三宮駅」の歴史と現在進められている改良工事、神戸水道の歴史とその最古の施設である「布引ダム」とその補強工事、「神戸臨港鉄道」の歴史と市道としての新たな活用などについて、講義と現場見学を交えた土木遺産探訪を行いました。



今年度からは、より広い分野を学んでいただけるように、1回の申し込みで4つまで希望コースを選んでいただけるようになりました(4コースまでなら、何コース受講しても受講料は千円)。今年度の受講者のうち約2/3の方が複数のコースを受講されました。

〈震災15年特集〉

阪神・淡路大震災を語り継いで その1

～神戸防災技術者の会 (K-TEC) の活動から～

1. はじめに

あの忌まわしい震災から15年。私たちはあの時、全国・全世界の皆さんから暖かい励ましや、義捐金・救援物資をいただき、ボランティアな支援を受けて乗り越え、市民の皆さんも事業者も行政も一緒になって「がんばろう」の気持ちで今日を迎えています。

その後、日本でも世界でも大地震により多くの方が亡くなっていることが引きもきらず報道され、地震は活動期に入っているといわれている昨今です。

私たちが味わった「悲しみ」「悔しさ」そして「苦しき」を被災者責任としてお伝えすることで、同じような境遇が生まれることを防ぎたい、また感謝の気持ちとしたいと考え、「語り部活動」をしています。

それではどんなことをお伝えしているか、私が語っていることをこれから数回シリーズで書いてみます。

語り部活動の聞き手は神戸市外の小学生から大学生、行政マンや自治会の方々など色々ですが、実体験者の言葉として新たな発見があるようです。しかし実際に被災をされた皆さんからは「そんな単純な事ではなかったよ」「オーバーに言っているな」「行政側からみた話だろう」とご意見が出てくると思います。

ご意見や情報をいただきながら今後語り継ぐ内容を充実させていきたいと考えています。

2. 震度「7」その瞬間は

私は震源から約10Km離れた須磨海岸の近く、震度7の中で被災をしました。

早朝5時46分、いきなりドーンと言う音と同時にベッドごと数10センチほど放り上げられました。

「ダンプが飛び込んできたのか」「飛行機が落ちたのか」と思ったのがその瞬間でした。

地鳴りを聞いた、何か光が飛んで行ったなど予兆を感じた人もあるようで、被災場所によってその瞬間の感じ方は異なっていたようです。

本当は数秒だったのでしょうが、数分とも思われる何の音もしない、真っ暗闇の中の不気味な時間、そして家が潰れるかと思うほどの激しい横揺れとガラガラと瓦の落ちる音で「地震だ」「途轍もない地震の中にいる」と始めて気づいたのです。

私も土木屋の端くれで、橋の設計などでは、地震が起きたときの安全性の計算もしていましたし、地震のことも少しは勉強していました。しかし情けないこと

に、大きな地震は関東地方で起きてても神戸では起こらないと思いついていました。

激しい揺れが「10秒ほど続き、そして止まる」の繰り返しの中、「このままなら家の下敷きになってしまうのではないだろうか、これからどのように逃げたらよいのだろうか」と思うだけで、腕組みをしてベッドの上から動けませんでした。

「緊急地震速報が出たら直ぐ机の下に潜れ」、「倒れそうな家具から離れろ」など、身を守ることが広報されていますが、頭で理解していてもとっさの行動が取れるよう身体で憶えておかなければダメです。

落ちる瓦に当たらないよう揺れが少ない時をみはからって布団を被って公園に逃げました。真っ暗闇の中での行動ですから、スリッパを履かなかった娘はガラスで足の裏を切ってしまいました。

懐中電灯を枕元におく、スリッパを履くなど簡単な備えも行動も出来ていなかったのです。

公園には逃げてきた人が少ないのです。空が白み始めたとき周りに見える家並みはいつもより低いのです。もうお分かりでしょう。この辺りは震災を受けなかった古い家や、戦後の物資不足の時代に建てられた住宅が立ち並ぶ地域でしたので、ほとんどの家が倒壊していたのです。

1979年の宮城県沖地震後、1981年に建築基準法の耐震に対する基準が強化されていますが、それ以前の建物が多かったのです。

そして、多くの隣人がその下敷きになっていたのです。

神戸防災技術者の会 (K-TEC) 片瀬範雄
(元神戸市職員)

ホームページ <http://www.k-tec117.com/>

K-TEC (ケーテック) とは?

震災から10年間は、復旧・復興に取り組む中で当時の様子を語ることに、職員にはためらいがありました。しかし市民も職員も1/3が震災を知らない世代に代わりつつある中、語り継いでいかなければ風化してしまうと考え、職員とそのOBはK-TECを立ち上げ、自然災害や当時の市役所の動きを勉強する1回/月の定例会、各地域への伝承活動、被災地域の支援を行い始めました。

発信！！まちセン研究ネット⑧ 西神ニュータウン研究会

■沿革

学園都市の大学連携施設・ユニティの公開講座から発展した会です。毎月例会を重ね1月で83回を迎えましたが、まだ続きそう。テーマは西神ニュータウンに関するものなら「何でもあり」なので、テーマによって顔ぶれは変わりますが、いつも30人ほどが参加しています。発表は1時間程度で済ませ、後の質疑と討論が長いのが当会の特徴です。

■近況

例会の他、春秋には周辺のご社寺などを巡ってきましたが、一巡したのでこの頃はニュータウン内を歩いています。そのため建築士会などの助成を得て「西神ニュータウンおもしろマップ」を発刊し、好評を得ています。また、当会代表が著した「西神ニュータウン物語」は西神ニュータウンの定本となっています。

■ホームページをどうぞ

当会には楽しいホームページがあります。是非ご覧ください。

～ニュータウンはいつまでもニュータウン～



http://park.geocities.jp/seishin_newtown/

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
2月	(～12日) ユニバーサルデザイン展	保健福祉局計画調整課
	(15日～) 北区フォトコンテスト入賞作品展	北区まちづくり推進課
3月	(～15日) まちづくり学校展	都市計画総局地域支援室
	(16日～) 美しいまちこうべの推進	市民参画推進局地域力強化推進課

※展示期間が変更になる場合があります。

地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
1月28日(木) ～ 2月2日(火)	シルバーカレッジ11・12期絵画展<油彩・水彩等>	シルバーカレッジ11・12期 絵画同好会
2月6日(土) ～ 2月7日(日)	神戸の客船と旅客機<水彩・写真>	みなとこうべ写楽の会
2月11日(木) ～ 2月16日(火)	きんもくせいのお絵画展<水彩他>	きんもくせいのお会
2月18日(木) ～ 2月23日(火)	第7回須磨火曜スケッチの会作品展<水彩>	須磨火曜スケッチの会
2月25日(木) ～ 3月2日(火)	第12回遊遊会水彩画展	遊遊会
3月5日(金) ～ 3月10日(火)	ぐるーぷひらの展<油彩>	ぐるーぷひらの
3月12日(金) ～ 3月16日(火)	松尾勇 作陶展<陶芸>	松尾勇
3月18日(木) ～ 3月21日(日)	第42回兵庫倶楽部写真友会写真展	兵庫倶楽部写真友会
3月25日(木) ～ 3月30日(火)	第22回遥洋会油絵展	遥洋会

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



こうべまちづくり会館

開館時間：午前10時～午後6時（水曜日休館）

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前10時～午後6時（水曜日休館）

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX：078-361-4565